

# 令和5年度 就学説明会

1. 中学校の生活・学習
2. 就学（入学）までの流れ
3. まなびサポートとは？

浦安市教育委員会  
教育研究センター



# 中学校の生活・学習



中学校では、授業は教科担任制となり、定期テストがあります。自分で計画を立てて、学習を進める力が求められていきます。部活動など、自分の興味のあることに、友達と一緒に取り組むことがたくさんあります。

# 中学校の生活（例）

<b>朝の読書</b>	<b>8:15～ 8:25</b>
<b>朝の会</b>	<b>8:25～ 8:30</b>
<b>1校時</b>	<b>8:40～ 9:30</b>
<b>2校時</b>	<b>9:40～ 10:30</b>
<b>3校時</b>	<b>10:40～ 11:30</b>
<b>4校時</b>	<b>11:40～ 12:30</b>
<b>給食</b>	<b>12:40～ 13:10</b>
<b>5校時</b>	<b>13:30～ 14:20</b>
<b>6校時</b>	<b>14:30～ 15:20</b>
<b>清掃</b>	<b>15:25～ 15:40</b>
<b>帰りの会</b>	<b>15:45～ 16:00</b>

# いろいろな学びの場

入学時の子どもは、すでに多様な個性をもっています。市内の公立中学校9校では、子ども一人一人の教育的ニーズに応じたいろいろな学びの場を用意し、その子どもの持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服することを目的として、適切な指導および必要な支援を行っています。

■ 通常の学級

■ 特別支援学級（全校設置）

■ 特別支援学校

R5.4.1現在

# 通常の学級

- 大きい集団（1クラス35～40人）で学ぶ。
- 定められたカリキュラムに沿った教科学習
- 担任が中心となって全体の中で指導・支援を行う。

# 中学校通常の学級（例）



	月	火	水	木	金
1	国語	社会	英語	理科	数学
2	数学	保体	理科	国語	音楽
3	技・家	数学	社会	数学	国語
4	技・家	国語	美術	英語	保体
5	社会	道德	保体	総合	美/音
6	英語	英語	学活	総合	英語



# 「通常の学級」の中での特別支援教育 教室にいる様々な個性の子ども達



担任が中心となり、大きな集団（最大35～40人）  
の中で特別支援教育を実施

例) 読み書きの支援

板書の量を調節  
(めあて・まとめは必ず)  
ルビふり  
(教科書や試験問題)





# 通級指導教室

通常の学級に在籍しながら、週1時間から2時間、個の教育的ニーズに応じた学習ができる教室があります。

- LD・ADHD等の通級指導教室

人と上手にかかわる方法の学習

感情のコントロールの仕方の学習など

知的な問題がないのに、読み書きが苦手

# 通級指導教室を利用するには

通常の学級で、担任が中心となった特別支援教育  
(個別の声掛け・座席の配慮など)

- ・ ⇒担任と保護者で、個別の指導計画を作成する



個別の指導計画を作成するなかで、通常の学級  
で実施する特別支援教育に加えた、個別の支援  
が必要であることの確認

学校からの要請により、まなびサポートが参観します

その後、通級指導教室の利用について、検討されます

# 特別支援学級

- 少人数での学習
- 生徒の状況や習熟度に応じたグループ学習・個別学習  
(使用する教科書は生徒の状況や習熟度によって異なる)
- 体験学習等を通じて、生活の基本となる技術や行動を学ぶ
- 通常の学級との行事や教科学習への交流を生徒の状況や各校の状況に応じて実施

(例)

- 具体物を使用して学習
- 個の課題に応じたプリントを使用など



# 特別支援学級 就学後の進路

- 特別支援学校
- 一般の高校への進学  
(入学試験がある)

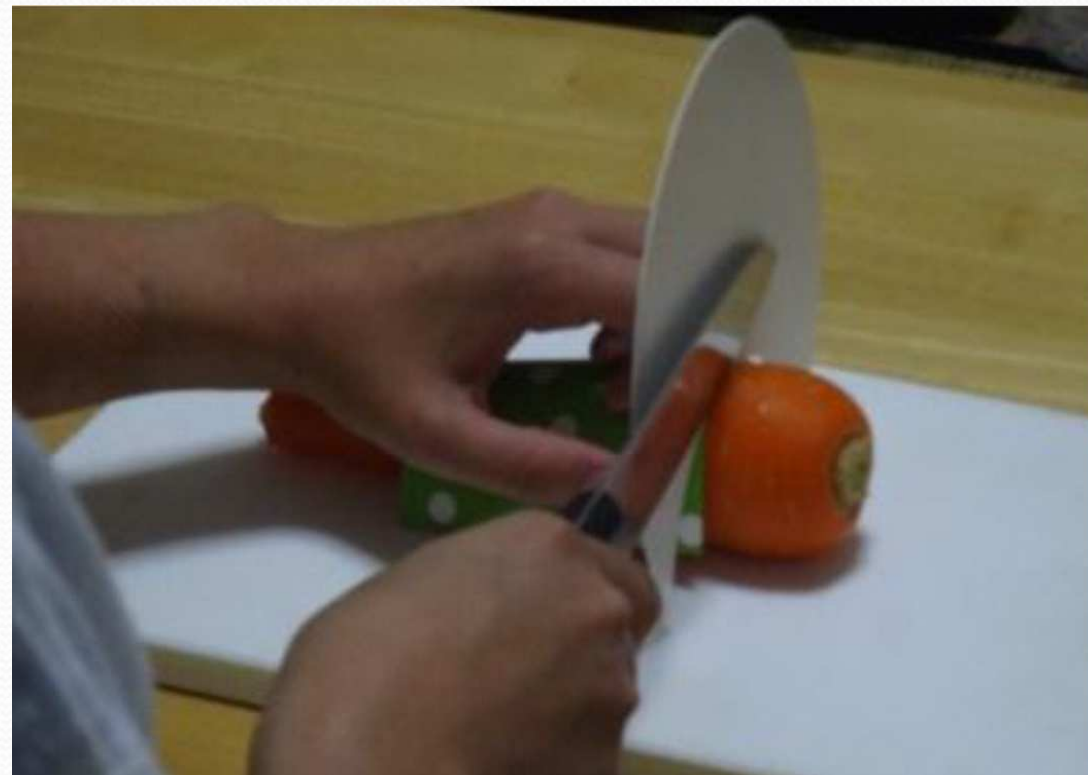
等

# 特別支援学校

- 少人数での学習
- 生活上の自立を図るための知識や能力を身に付けることを目的としている。
- 県立市川特別支援学校、県立市川大野高等学園、
- 県立船橋夏見特別支援学校などがある。



- 専門的知識を持った教員による指導
- 個別や小グループでの学習
- 一人ひとりに応じた道具が豊富



# 特別支援学校 就学後の進路

- 小学部から高等部にかけて内部進学
- 障がい者枠での企業就労、福祉的就労をめざす

(例)

特別支援学校の卒業生等は、県立高等学校や県立特別支援学校の学校技能員や調理員等の業務にかかわる嘱託職員として採用されている。



# いろいろな学びの場

	通常の学級	特別支援学級	特別支援学校
主な学習形態	集団での 教科学習	個に応じた 教科学習	生活上の自立 を図る
学校	小・中・高	小・中	(幼)小・中・高
1学級の 児童生徒数	40名 (中1は35名)	8名	6名 (重複3名)
担任	1名	1名	1名

# 中学校進学にあたって 就学相談が必要な場合

進学先 在籍校・学級	中学校 通常の学級へ	中学校 特別支援学級へ	中学校 特別支援学校へ
小学校 通常の学級 在籍	不要	必要	必要
小学校 特別支援学級 在籍	必要	不要 (学校間引継ぎ)	必要

# 就学相談が必要な方

- ①「就学説明 受付個票」の「個別相談を希望」に○



まなびサポート職員から保護者宛てに電話をします  
お子さんの力が発揮できる学びの場を保護者と一緒に考えていきます。

- ②「就学説明 受付個票」の「個別相談を希望しない」に○



随時、就学相談は受け付けています。  
入学後も、継続して学校支援を行います。

# 就学相談の流れ

(別紙 資料参照)

就学相談申し込み 就学への希望、不安をお聞かせください



6～7月 学区の特別支援学級を見学案内

集団の中の生活・学習場面を参観し、  
お子さんの姿を共有しながら相談

必要に応じ  
複数回



個別相談

10月 学校公開

就学相談は、随時受付しています。

11月 就学先希望の決定 市内通常の学級・特別支援学級  
県立特別支援学校

1～2月 中学校への引継ぎ準備 学校への引継ぎ内容を相談

# 就学（入学）までの流れ

- 9月 教育委員会から「学校公開の案内」送付
- 10月 各中学校で学校公開
- 1月 教育委員会から「入学通知書」送付
- 2月 各中学校で入学説明会
- 3月 新入生 半日体験入学
- 4月 入学式に参加

# まなびサポートとは？

お子さんが笑顔で学校生活を送れるようにお手伝いをします

## ①就学相談

お子さんに最適な学びの場と一緒に相談していきます

## ②学校生活の相談

入学後の支援を学校とともに相談していきます

## ☆担当スタッフ

指導主事・指導員・医師・スーパーバイザー

相談員（言語聴覚士・臨床心理士・公認心理師・理学療法士  
作業療法士）

## ☆問い合わせ先

教育センター（富岡小学校 内）

TEL：381-7961

